

推進項目	計画 (PLAN)	行動 (DO)・改善 (ACTION)
(1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出	<p>令和2年度事業 (予算額)</p> <p>○市民体育祭実行委員会負担金(1,750千円) 前年比:50千円 減</p> <p>◆関連目標：Ⅲスポーツによる賑わいとまちづくり (2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生</p> <p>○スポーツ推進委員会負担金 (2,168千円) 前年比:65千円 減 ※報酬を除いた予算額 ▽酒田市体育振興会 (予算なし)</p> <p>○総合型地域スポーツクラブへの側面的支援 (予算なし)</p>	<p>事業内容及び課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年48回目を数える歴史のある大会。地区内の人口減少により、地区単位での参加が困難となってきた。 ・市民が一堂に会して交流を深める市最大のイベントである。 ・R2年度に向けて、できる限り、市民・地域が参加しやすいよう再調整を行い、開催時間帯、内容等を精査していく。 ・「スポーツ推進委員」は、実技指導だけではなく、地域住民と行政とのコーディネート機能を持っており、地域スポーツにおいて欠かせない存在となっている。 ・資質向上(指導者)と活躍する人材の育成 ・地域によるスポーツ活動(ニュースポーツ)の普及 ・ニュースポーツ等の用具の更新 <p>行動 (DO)・改善 (ACTION)</p> <p>当該年度事業の現況と改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウィルス」の影響により中止→引き続き、八幡地区、松山地区には参加要請をしていく。 ・改選により、前期より3名推薦者が増えた。 ※83名のうち新規スポーツ推進委員21名 ・「新型コロナウィルス」の影響による各地区の運動不足解消事業の検討。
(2) 子どもスポーツ活動の推進	<p>○スポーツ少年団活動事業 (3,262千円) 前年比:101千円 減</p> <p>○B&G平田海洋クラブ活動負担金 ※スポーツ振興総務管理事業 ※補助金→負担金 (56千円) 前年比:2千円 減</p> <p>▽酒田市中学校部活動等ガイドラインの運用</p> <p>▽「もっと遊べ酒田の子ども」運動テキストの活用 ▽酒田市体育協会 スポーツ教室の実施</p>	<p>事業内容及び課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年48回目を数える歴史のある大会。地区内の人口減少により、地区単位での参加が困難となってきた。 ・市民が一堂に会して交流を深める市最大のイベントである。 ・R2年度に向けて、できる限り、市民・地域が参加しやすいよう再調整を行い、開催時間帯、内容等を精査していく。 ・「スポーツ推進委員」は、実技指導だけではなく、地域住民と行政とのコーディネート機能を持っており、地域スポーツにおいて欠かせない存在となっている。 ・資質向上(指導者)と活躍する人材の育成 ・地域によるスポーツ活動(ニュースポーツ)の普及 ・ニュースポーツ等の用具の更新 <p>行動 (DO)・改善 (ACTION)</p> <p>当該年度事業の現況と改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウィルス」の影響により中止→引き続き、八幡地区、松山地区には参加要請をしていく。 ・改選により、前期より3名推薦者が増えた。 ※83名のうち新規スポーツ推進委員21名 ・「新型コロナウィルス」の影響による各地区の運動不足解消事業の検討。
	<p>計画 (PLAN)</p> <p>総合型地域スポーツクラブの公益的な活動について適切に評価し、必要な支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在9つのクラブが活動 ・R1年度に「酒田市総合型地域スポーツクラブ情報交換会」を設立。 ※会長：丸山氏(ひらた目ん玉スポーツクラブ会長) ・施設使用料に対する減免のあり方を検討 <p>H30団員数：1,577人、加入率：33.9% R1 団員数：1517人、加入率：33.7% 【スポーツ活動の意義・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに親しむことで、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図ると共に、爽快感、達成感、他者との連帯感、精神的な充足も図り、更には、体力の向上、ストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進に大きな効果がある。 ・運動適性テスト(体力測定)の実施率を上げるための方策を検討。 <p>・クラブ員の確保、イベント等への参加者の減少が課題となっている。</p> <p>・会員募集、事業開催等の募集方法の検討。</p> <p>・ガイドラインに沿った活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブとの連携。 ・アンケートで「やりたい部活がない」が多い。 <p>・保育園等との連携による基本動作を体験させる運動遊びの場の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポ少→部活動(中学校)へのきっかけづくり。 	<p>総合型クラブへの支援制度等の情報提供をしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金 (toto等) の申請・確保、指導者の育成・確保、クラブ運営における研修会の開催 etc ・施設使用料の減免規定の見直しにも触れ、受益者負担という基本的な考え方には理解を得たが、小中学生の活動に対しては今までどおり全額免除をしてほしいとの声が多数あった。 <p>・本部大会(野球・サッカー・バスケ・バレー・卓球・剣道)の6競技を実施検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者講習会の開催方法。 <p>・各小学校に、クラブ会員の募集チラシを配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業については、海洋クラブの会員のみに周知するが、HP等でも周知する。 ・初心者向けのカヌー教室等も、HP、広報等で周知する。 <p>・一度作成したら終わりではなく、毎年見直しが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい部活動(課外活動)のあり方。 ・指導者派遣など、中学校の部活動に協力できる総合型地域スポーツクラブや、取り組み事例など、情報を各クラブへ流す。 <p>・子ども(青少年)の分野におけるスポーツの振興はスポ少事業のみ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会で、小学生を対象にした事業など、底辺拡大に向けた取組を実施。(ちびっこスポーツクラブ)

推進項目	計画 (PLAN)		行動 (DO) ・改善 (ACTION)
	令和2年度事業 (予算額)	事業内容及び課題等	
(3) 18歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進	▽子育て世代、働き世代、高齢者のスポーツ活動の充実 ▽酒田市体育協会 スポーツ教室の実施	・スポーツに取り組む習慣づくり ・意識付け、動機付け、会場の確保 ・スポーツ推進委員が各地区で実施している体力測定会をきっかけにスポーツ活動へ取り組んでもらう。 ・スポーツ推進委員を中心とした地域スポーツの充実。 ・備品等の整備	当該年度事業の現況と改善点 ・平成28年度から調査を実施している「スポーツ行事への参加状況調べ（各地区体育振興会より報告）」 H28・・・36,184人 H29・・・41,714人 H30・・・47,051人 R01・・・41,057人
(4) 障がい者のスポーツ活動の推進	▽スポーツ推進委員会山形県大会 (スポ推事業) ▽ホストタウン推進協議会	・障がい者スポーツの理解への取り組みをスポーツ推進委員会で実施。	・R1年度は、ポッチャを各小学校に貸し出しをして、体験してもらった。 ・スポーツ推進委員による障がい者スポーツの研修。

【数値目標】※毎年、アンケート調査を実施

スポーツ実施率	成人の週1回以上のスポーツ実施率 ⇒ 60% (R01 : 48.8%) (H29 : 31.0%)
同 週3回以上のスポーツ実施率 ⇒ 30% (R01 : 22.7%) (H29 : 14.4%)	
子ども (小学生) のスポーツ実施率 ⇒ 85% (R01 : 51.4%) (H30 : 78.3%)	
スポーツや運動が好きである子ども (小学生) ⇒ 85% (R01 : 67.1%) (H30 : 77.7%)	
スポーツや運動が好きである子ども (中学生) ⇒ 75% (R01 : 57.7%) (H30 : 66.3%)	
スポーツや運動が嫌いである子ども (中学生) ⇒ 8% (R01 : 6.5%) (H30 : 10.2%)	
スポーツ行事への参加者数 ⇒ 38,000人 (R01 : 41,057人) (H28 : 36,180人)	

★基本目標：Ⅱ 感動と活力に満ちた競技スポーツ

推進項目	計画 (PLAN)		行動 (DO) ・改善 (ACTION)
	計画 (PLAN)	事業内容及び課題等	
(1) トップアスリートの育成・強化の推進	令和2年度事業 (予算額) ○白崎資金スポーツ指導者養成委託料 (680千円) 前年比:80千円 減	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートを育成できる指導者の養成と選手の育成。 ・全国に通用するトップアスリートを育成するためには、中学校や高校におけるスポーツ環境の整備及び選手の育成・強化が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「研修受講 → 必ず指導をさせる → 実績を積む」のようなサイクルの確立
	○県駅伝酒田鮎海実行委員会負担金 (1,000千円) 前年比:同額	<ul style="list-style-type: none"> ・近年は優勝チームとのタイム差も大きく、高校生・大学生など若い世代の競技力向上が喫緊の課題となっている。 ・選手強化の一環で、他の陸上大会に出場していることから、強化費のあり方について検討が必要。 ・山形新聞社が主催する大会であり、参加の是非や事務局のあり方について検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス」の影響により大会中止
(2) 競技スポーツに対する推進体制の充実	○県ジュニア駅伝酒田市実行委員会負担金 (予算措置無) 前年比:500千円 減	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県が主催しており、8月の第1週日曜日開催されている。 ・日程がスポ少や部活動等の大会と重複し、児童生徒に参加依頼をしても断られることが多く選手の確保が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリパラ開催により、R2年度中止。R3年度予定どおり開催。 ※小体連、中体連、陸協の関わり等を踏まえ、実行委員会組織の再編成を検討。
	○酒田市体育協会事業補助金 (12,211千円) 前年比:同額 ◆関連目標：Ⅱ 感動と活力に満ちた競技スポーツ (2) 競技スポーツに対する推進体制の充実 (3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・競技団体の育成強化、スポーツ指導者の育成・資質向上、スポーツ教室開催等による競技者の拡大・普及 ・アスリートの育成、強化 ・各競技団体との連携 ・全国大会、東北大会をはじめ、実業団大会等の誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス」の影響により6月開催までの各種大会が中止となっている。
(2) 競技スポーツに対する推進体制の充実	○スポーツ振興激励金交付事業 (2,622千円) 前年比:563千円 減	<ul style="list-style-type: none"> ・R10交付実績 全国 216人 (うち国体59人) 東北 56人 計 272人 (105人減) 	<ul style="list-style-type: none"> ・激励金の交付要綱等をHP等で周知するとともに、体育協会評議員会や市召集校長会を通じて、各種団体へ対してもPR。
	○白崎資金スポーツ優秀選手表彰 (347千円) 前年比:67千円 増	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減及び事務軽減の観点から、白崎資金表彰と市体育協会表彰の合同開催を、R2年度から、統合をR3年度から実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス」の影響により、全国、東北規模の各種大会が中止となっている。
(2) 競技スポーツに対する推進体制の充実	○体育大会負担金 (1,160千円) 前年比:40千円 減	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会加盟競技団体及び市民に、広くスポーツの実践の機会を与え、市民の健康維持増進とスポーツの普及振興並びに競技力向上を図る目的で開催している大会。 ・各競技大会の数が増えていることから、体育大会の継続、廃止について各競技団体に一任したい。 ・市から負担金としての予算措置はしない方向で検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R1年度・・・小学生1,051人 (26.4%) 中学生1,742人 (43.8%) 高校生319人 (8.0%) 一般867人 (21.8%) ・令和2年度大会は「新型コロナウイルス」の影響により中止。
	※スポーツ振興総務管理事業 ○山形県体育協会負担金 (236千円) 前年比:同額 ○山形県スポーツ振興21世紀協会負担金 (1,065千円) 前年比:同額 (※モンテディオ山形への支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村応援デーの積極的な周知によるトップレベルの競技観戦。 ・公益財団法人の活動とはいえ、1競技(サッカー:モンテディオ山形)に特化した支援であるため、負担金のあり方(額)を検討が必要。 	
(2) 競技スポーツに対する推進体制の充実	○アランマール後援会会費 (30千円) 前年比:同額	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業チームとの連携によるジュニア選手育成、トップレベルの競技観戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会会費として支援 (10,000円×3口)

★基本目標：II 感動と活力に満ちた競技スポーツ

計画 (PLAN)		行動 (DO)・改善 (ACTION)
推進項目	事業内容及び課題等	当該年度事業の現況と改善点
(3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出 令和2年度事業(予算額) 〇みなと酒田トライアスロンおしんレース実行委員会負担金 (1,309千円) 前年比:同額 ◆ 関連目標: III スポーツによる賑わいとまちづくり (1) スポーツツーリズムの推進 〇全庄内スキー選手権大会補助金 (727千円) 前年比:同額	・全国各地より約400名のトライアスリートが出場し、地元からも約600名のボランティアの協力により開催される大会。大会運営費の確保、大会運営体制に苦慮している。 ・R2年度から大会への支援(スタンス)が「補助金」から「負担金」となり、今後都市が『共催』として支援していくことに決定。 ・青少年の健全育成をはじめ、冬季スポーツ振興の一環として開催しているもので、令和2年度で74回を数える歴史ある大会。 ・参加者の減少、使用機械の経年劣化なども含めて大会運営体制に苦慮している。 ・一競技大会であるため、市の補助金が無ければ開催できないというスタンスを是正したい。	・「新型コロナウイルス」の影響により大会中止。 ・2020東京オリパラ延期により、ニュージーランドのトライアスロンチームの酒田市で事前キャンプも延期(2021年) ・R元年度は雪不足のため中止。
〇東北総合体育大会 ・ノレーボール競技補助金 (214千円) ・相撲競技 (280千円) 〇酒田市武道団体協議会演武会補助金 (100千円) ▽77アマレーやモンテッ イ山形の地元開催試合の情報発信	・東北総合体育大会(ミニ国体)の開催に対する補助金。R1年度の東北大会は山形県を中心とするもの。 ・酒田市武道団体協議会演武会は5年に1度の開催。	・「新型コロナウイルス」による大会開催の可否を検討中。 ・武道団体協議会演武会は新型コロナウイルスの影響により大会中止 ※柔道、剣道、弓道、少林寺拳法、空手道、躰道、合気道の7競技。
目標数値について	・団体競技と個人競技で出場人数が異なるため、成果を人数の増減で図ることができないと考え、種目数とするもの。	

【目標数値】

国民体育大会への出場種目数 ⇒ 20種目以上 (R01:20種目)
 (H30:19種目)

★基本目標：Ⅲスポーツによる賑わいとまちづくり

計画 (PLAN)		行動 (DO)・改善 (ACTION)	
推進項目	令和2年度事業 (予算額)	当該年度事業の現況と改善点	
(1) スポーツツーリズムの推進	<p>○酒田つや姫ハーフマラソン大会実行委員会負担金 (13,000千円) 前年比:同額</p>	<p>事業内容及び課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称変更、コース変更 (一部) ・市外、県外からの参加者に、「酒田の魅力」をどのように伝えるか。 ・スポーツボランティアの育成・支援が課題。 ・toto助成 (8,000千円) がなくなった場合の大会開催のあり方について検討。 	<p>「新型コロナウイルス」による開催可否を検討 (6月下旬まで)</p>
(2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生	<p>○巡回駅伝競走大会実行委員会負担金 (380千円) 前年比:20千円 減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R1参加チーム 1部17チーム 2部17チーム。参加者341人 ・R1より午前コースのみに変更。 ・陸上競技協会が実施主体から外れることで、審判等各地区の協力が必須となる。 	<p>・コース (距離)、運営など多くの地区が参加しやすように検討。</p>
(3) ホストタウン登録におけるニューズジャーナリズムとの交流	<p>○東京2020オリンピック聖火リレー開催事業 (5,274千円) ※うち、山形県実行委員会への負担金 (4,525千円)</p> <p>▽ホストタウン推進協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R1.3月～福島県からスタートした聖火リレーが6/8に酒田市で開催される。日和山公園から飯森山公園までのルート。 	<p>・「新型コロナウイルス」の影響により中止。2021年に延期。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・2020年NZトライアスロンチームの事前キャンプ地として決定した。→2021年に延期 	

【目標数値】

酒田つや姫ハーフ・ラ・淘蟹・Eみなと酒田トライアスロンおしんレース大会
 における交流人口 (市外・県外)⇒ 1,600人 (R01:1,518人)
 (H30:1,415人)

計画 (PLAN)		行動 (DO) ・改善 (ACTION)	
推進項目	令和2年度事業 (予算額)	事業内容及び課題等	当該年度事業の現況と改善点
(1) スポーツ施設の整備等	<p>○施設整備方針 (予算なし)</p> <p>令和2年度事業 (予算額)</p>	<p>・施設の適正な配置を中長期的な視点で検討し、個別の施設の課題や統廃合を含めた方針を策定。</p> <p>・限られた財源の中で、「適正」をどのものさしで測ればいいのか、今後、予算要求する上での前提条件となる。</p>	<p>・基本的な考え方</p> <p>①体育施設を種目・機能別に分類し、大会開催等のために必要な施設に集約化していく。 (練習場所は、学校体育館・コミセン集会場・公園施設などを活用)</p> <p>②利用ニーズがあっても耐震化を図ることが難しいなど止むを得ない理由で廃止する場合は、他の体育施設、他の公共施設又は民間施設で代替できるようにする。</p> <p>③広域的な利用ニーズがある施設や機能は、県に対し整備の検討を要望する。</p> <p>④近隣自治体を含めた、スポーツ施設の相互利用や、広域的な連携体制のあり方を検討する。</p>
	<p>○指定管理者制度の運用 体育施設管理事業 (133,469千円) 前年比:322千円 増</p>	<p>・モニタリングの実施や事業評価を行いながら、適正な運用が図られるよう努めていく。</p>	<p>・指定管理期間内の施設は、定期モニタリングや事業評価を実施</p> <p>・3・4年目の施設は、事業評価結果を市ホームページに掲載</p> <p>・令和2年度に終期となる、松山・平田スキー場は、施設整備方針を踏まえて見直しを検討</p>
	<p>○施設使用料、減免基準の見直し</p>	<p>・適正な受益者負担に向け、令和2年4月から料金見直しが予定されている。これに併せ、使用料の減免基準の見直しを行う予定。</p>	<p>《各施設共通の減額・免除対象》</p> <p>ア 法令で減免することを規定しているもの (法令の減免率)</p> <p>イ 身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者及びその介助者1名 (50%減額)</p> <p>ウ 市内の保育園、幼稚園、こども園、小中学校、学童が保育・教育課程で使用するもの (免除)</p> <p>エ 市の事業・市主催の事業 (免除)、市共催事業 (50%減額)</p> <p>※市の後援事業については、減免対象としない。</p> <p>《政策的判断による減額・免除の適用基準の策定》</p> <p>上記ア～エのほか、政策的判断に基づき減額・免除できる旨の規定を設ける場合は、原則、本来の施設の設置目的外の利用 (災害時等の緊急性が高い場合) に限定。</p> <p>ただし、施設の特性に応じ、やむを得ず政策的判断に基づき市長特認による減額・免除事項を設ける場合には、その内容をホームページで公開。なお、減額・免除率は、10割 (免除) 又は5割。</p>
	<p>○体育施設管理事業 (313,001千円) 前年比:733千円 減</p> <p>(施設の維持管理経費、指定管理運営経費、B&G海洋センター運営経費)</p>	<p>・老朽化による施設修繕経費の増加</p> <p>・指定管理制度の適正な運用</p> <p>・少額な備品については、課の裁量で購入できるよう、弾力的な予算執行ができるよう改善。</p>	<p>・「新型コロナウイルス」による影響</p> <p>※4/8～5/10全施設休館</p> <p>※5/11～使用再開</p>
	<p>○体育施設整備事業 (65,004千円) 前年比:69,685千円 減</p> <p>(陸上競技場トラック改修・スケートリンク冷凍機整備・松山スキー場リフト改修・光ヶ丘プール備品購入 等)</p>	<p>・体育施設の修繕や競技用備品を整備し、安全で快適なスポーツ環境の提供や大会誘致等による交流人口の拡大により、生涯スポーツ及び競技スポーツの振興を図る。</p>	<p>・体育施設整備方針に基づき、順次施設を整備する予定。</p>

★基本目標：IV安全安心なスポーツ活動のための環境整備

計画 (PLAN)		行動 (DO) ・改善 (ACTION)
推進項目	事業内容及び課題等	当該年度事業の現況と改善点
令和2年度事業 (予算額) ○パークゴルフ場整備検討事業 (3,500千円) 前年度比:3,140千円 増	・八森サッカー場をパークゴルフコースとして改修するための測量、設計。 ・猛禽類保護の観点から有識者の意見をいただき、その結果を踏まえ自然保護団体と調整。 ・R1年度に建築から27年経過した国体記念体育館について、長寿命化を図るうえで、改修必要箇所を調査した。今後、改修の時期や設計等を年次計画について検討していく予定。 ※改修費用は約19億円。	・「新型コロナウイルス」の影響により、事業延期予定。 R2年度は、予定なし。
○国体記念体育館改修事業 ※R2年度予算計上無し	・R1年度は勤労者体育センターを改修工事。(アリーナ床改修、トイレ洋式化、照明LED化) ・学校体育施設、コミュニティセンター、大学施設の活用を施設管理者と協議し、身近に運動できる場の確保に努める。 ・場所の提供のみならず、用具や器具等の備品の整備に努める。	・体育施設整備方針に基づき実施予定。
(2) スポーツ施設の利 用促進	▽体育施設以外の施設の利用 ○予約管理システムの運用 ・体育施設管理事業 (1,420千円) 前年比:5千円 増	・実際は利用せずに、他団体へ予約を付け替える不適切な利用団体に改善を求めていく。 ・設置場所を分かりやすく周知する。
(3) 安全なス ポーツ活 動の推進	○AEDの整備 (体育施設管理事業379千円) 前年比:94千円 減 ○体育施設敷地内禁煙の実施 (予算なし)	・施設の受付窓口、元の喫煙場所や人目に付く場所へ掲示するなどの周知を図る。

【数値目標】

スポーツ施設の利用者数 ⇒ 770,000人 (R01: 686,031人)
(H30: 710,779人)